



発行所 財団法人 三重県交通安全協会 三重県交通安全活動推進センター(三重県公安委員会指定)
〒514-0004 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F TEL 059-228-9636 URL http://www.mie-ankyo.com

秋の全国交通安全運動

平成18年9月21日(木)～30(土) の実施計画



●運動の基本 高齢者の交通事故防止

- | 運転者・同乗者は… | 家庭・地域では… | 職場・学校等では… |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●病院、老人福祉施設等の付近では高齢者の歩行に考慮した運転をする。 ●高齢者の行動特性や運動能力を理解し、保護意識を持って思いやりのある運転をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●身近で起きた高齢者や子どもの交通事故について家庭で話し合い、交通ルールを守り正しい交通マナーを習慣づける。 ●交通安全講習会等各種行事に家族ぐるみで参加し交通安全の意識の高揚を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●事業所等では、高齢者を見かけたら、速度を控え、思いやりのある運転をするよう指導する。 ●町内会等の地域住民の組織・事業所において高齢者や子どもを事故から守るという保護意識の高揚を図る。 |

●運動の重点

①夕暮れ時の歩行中と自転車乗用中の交通事故防止

- | 運転者・同乗者は… | 家庭・地域では… | 職場・学校等では… |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●夕暮れ時、自動車は早めのライト点灯に心掛ける。 ●交通混雑や視認性の低下など、夕暮れ時の危険性を認識し、安全運転に配慮する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●夕方から夜間の外出には、反射材を付け、自転車は必ずライトを点灯する。 ●自転車は乗車前の点検整備の励行と反射材の活用を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ●朝礼、点呼時や会合の場で、飲酒運転の追放や、自動車の早めのライト点灯などの指導を徹底する。 ●自転車も、車両であることを認識させ、道路交通法の厳守と反射材の活用を図る。 |

②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- | 運転者・同乗者は… | 家庭・地域では… | 職場・学校等では… |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●運転者と前席同乗者はもとより、後席同乗者もシートベルトを正しく着用し、事故の衝撃や車外放出から自分の命を守る。 ●乳幼児を同乗させるときは、子供の体格に合ったチャイルドシートを正しく使用する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●シートベルトやチャイルドシートの着用効果、必要性について、家族みんなで話し合う。 ●各種行事において、ビデオによる啓発シートベルト着用効果体験車等を活用した体験型の教育・指導を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●事業所では、シートベルトの着用効果を理解させ着用率100%を徹底する。 ●学校等では、児童生徒及び保護者に対し、シートベルトやチャイルドシートの着用効果を理解させ、車に同乗するときは必ず着用するよう指導する。 |

③飲酒運転の追放(三重県指定重点)

- | 運転者・同乗者は… | 家庭・地域では… | 職場・学校等では… |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●飲酒運転は絶対にしない。 ●酒類がでることが予想される会合等には、車を運転して出かけるな。 ●飲酒運転の危険性・責任の重大性を十分認識する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●行楽などのレジャーや外食時においても、家族に飲酒運転をさせない。 ●飲食店等では、車を運転する人に酒類を提供しない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●事業所では、朝礼、点呼時や会合の場で、飲酒運転の危険性や法令を守ることについて、指導を徹底する。 ●学校では、PTA活動等を通じて、家族で飲酒運転の防止について話し合うよう指導する。 |

「セーフティ・シルバー・デー」(S・Sデー) 設定にともなう高齢者の交通事故防止対策

県内の交通死亡事故に占める高齢者の割合は、全死亡事故の約4割を占め、高齢者が原因となった交通死亡事故が目立っており、今後、さらに同種事故の増加が懸念されることから、毎月21日を「セーフティ・シルバー・デー(S・Sデー)」として設定し、高齢者の総合的な事故防止対策を実施しております。

当協会も毎月21日には高齢者を重点とする総合的な街頭活動の推進を図り、地域の実情に即した効果的な活動を展開して、高齢者の交通事故の防止を実施しております。

交通安全協会は交通事故を減らすために、幅広い活動を行っています。



大型店舗で交通事故防止を呼びかけ啓発物を配布(いなべ地区交通安全協会)



女性部が交通安全七夕飾りの作成と交通安全教室を実施(桑名地区交通安全協会)



駅前交通安全を呼びかけ反射材を配布(四日市北地区交通安全協会)



幼稚園で腹話術による交通安全のお話を実施(四日市西地区交通安全協会)



幼稚園で交通安全めいぐるみ劇を実施(四日市南地区交通安全協会)



カーブミラーの清掃点検を実施(名張地区交通安全協会)



北から南から(各地区の活動)

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭指導)
- 新入園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者の表彰
- 交通事故無料相談



高齢者の交通安全研修会を開催(亀山地区交通安全協会)



死亡事故現場で緊急安全活動を実施(伊賀地区交通安全協会)



小学校で交通安全教室を実施(鈴鹿地区交通安全協会)



チャイルドシート着用モデル幼稚園を指しシボル人形を手渡した(津地区交通安全協会)



国道165号線で交通安全街頭キャンペーンを実施(津南地区交通安全協会)



子ども警察官と高齢者の交通安全の集いを開催(松阪地区交通安全協会)



国道42号線で中学生とともにミルミルウェーブを実施(尾鷲地区交通安全協会)



中学校で自転車の安全点検を実施(大台地区交通安全協会)



死亡事故現場で交通事故再発防止を呼びかけ(伊勢地区交通安全協会)



国道42号線カメ公園前で交通事故防止を呼びかけ(紀玉地区交通安全協会)



交通安全フェスタを開催し子ども警察官による安全宣言をおこなった(熊野地区交通安全協会)



女性部が小学生の交通安全街頭指導を実施(鳥羽地区交通安全協会)

財三重県交通安全協会 創立50周年記念式典開催

平成18年6月23日(金)、「ホテルグリーンパーク津」において、(財)三重県交通安全協会が「創立50周年記念式典」が行われました。式典には、当協会総裁の野呂知事をはじめ警察本部長、当協会関係各団体役員等120名余りのご来会を得、「祝辞表彰、あゆみ」など滞りなく執り行うことができました。今年で創立50周年の節目となります。「創立の原点」は、大正時代に始まり今日までの歴史を簡略にご紹介します。大正時代後半に「自動車運転者の職業」が増えたため、県庁に勤務する運転者が集まって「運転者の会」を創り、技術の向上や徳性の涵養、慶弔などを「共にすること」にしたらどうだろうか?」と思考、シヨブアー(運転者)交友会を発足。昭和11年4月25日「三重県自動車交友会」に改称。昭和17年6月20日「三重県交通安全協会」として発足。昭和25年4月「三重県交通安全協会連合会」に改称。昭和31年6月25日「財団法人三重県交通安全協会連合会」を創立。平成13年4月25日「財団法人三重県交通安全協会」として発足。大正13年から「創立」までの約33年間は、初代会長「尾崎鉄之助氏」が書き残した「三重県自動車交通50年史」の中で、人間の共同生活を結び付ける役割は交通の2文字に尽きる」と語り、その著者が創立までの先駆者であります。凄まじい自動車の発展により「国民皆免許」と言われるこの「車社会」の中で、交通事故防止を担う我々「(財)三重県交通安全協会」は、職員一人ひとりが創立50周年を節目として創立の原点に立ち返り「地域に密着した目に見える活動」を強力に展開し、「安全で安心な車社会」の実現に向け、この歴史と伝統のある「財団法人三重県交通安全協会」を継承、さらに進化して歩み続けなければならない。



第34回 二輪車安全運転 三重県大会開催

「第34回二輪車安全運転三重県大会」が、6月4日(日)、津市高茶屋の三重中央自動車学校で開催されました。本大会は、二輪車の安全運転技能とマナーの向上を図って、交通事故を防止しようと広く参加者を募集して、毎年開催しています。大会には、三重県警察本部山口首席参事官、二輪車安全普及協会服部会長、外多数の方々のご出席をいただきました。競技は、高校生等クラス・女性クラス・一般A(400cc以下)クラス・一般B(400cc超)クラスに分けられ、それぞれ法規履行走行・技能走行競技で行われました。競技には、38名が参加し、結果、各クラスからの全国大会出場選手は次のとおりでした。

- 高校生等クラス 澤下 大貴
● 女性クラス 濱口小由美
● 一般Aクラス 瀧澤 孝司
● 一般Bクラス 小林 敬典



第39回 二輪車安全運転 全国大会開催



二輪車の安全運転技能と交通マナーの向上を図ることを目的とした二輪車安全運転全国大会が8月5日、6日の両日鈴鹿サーキットで行なわれました。同大会で当県チームは、団体で25位、個人では、高校生等クラスの澤下大貴選手が13位、女性クラスの濱口小由美選手が10位、一般Aクラスの瀧澤孝司選手が38位、一般Bクラスの小林敬典選手が26位でした。全国大会の結果は次のとおりです。
優勝 富山県チーム

交通安全「俳句」「川柳」作品コンクール

交通安全「俳句」「川柳」募集

第3回「交通安全「俳句」作品コンクール」を次のとおり開催することとなりました。交通事故が増加傾向にある現状を踏まえ、一人でも多くの方々に交通安全活動に対する認識を高めてもらう機会になればと考えたものであります。多くの方々の作品をお待ち致しておりますので奮ってご応募下さいませようお願い申し上げます。

- 俳句 ○小・中学生の部 ○一般の部 ○高齢者の部(70歳以上)
川柳 特に部門の区別は、ありません ※お一人様何首でも結構です。

- ◆締切 本年9月15日(金)必着
◆応募方法 氏名・住所・年齢・電話番号を明記の上、郵送、FAXまたはEメールにて
◆応募作品について ・応募者は、安全協会会員であるか否かは問いません ・交通安全に関するもの ・応募用紙・ハガキなど作品形式は問いません(審査は内容のみで行われます)



作品送付先 〒514-0821 津市垂水2566 免許センター内 三重県交通安全協会 総合対策推進室
TEL 059-223-4520 FAX 059-223-4590 担当:前川
Eメール:mieankyo@topaz.ocn.ne.jp

第40回 交通安全子供自転車 三重県大会開催



- 2位 北海道チーム
3位 宮城県チーム
25位 三重県チーム

「第40回交通安全子供自転車三重県大会」が7月1日(土)、安濃中央総合公園体育館で開催されました。大会には、各地区交通安全協会管内の小学校各1チーム(18校・18チーム)が参加、学科テスト、実技テストにおいて接戦した競技が展開されました。大会には、三重県警察本部児玉交通部長、山口首席参事官、三重県教育委員会土肥特命監、三重県自転車軽自動車

- 優勝 鈴鹿市立河曲小学校(全国大会出場校)
第2位 玉城町立田丸小学校
第3位 桑名市立大和小学校
第4位 尾鷲市立矢浜小学校
第5位 津市立波瀬小学校
第6位 伊賀市立新居小学校
個人(一般)
優勝 村上市立河曲小学校
第2位 加納 諒河曲小学校
第3位 中西 里奈田丸小学校
第4位 菊池 里奈田丸小学校
第5位 野田 穂乃佳(矢浜小学校)
第6位 大西 梨央(田丸小学校)

商業協同組合森理事長、外多数の来賓の方々のご出席をいただきました。競技終了後も、三重県自転車軽自動車商業協同組合の方々による自転車安全点検教室、警察音楽隊演奏等があり、有意義な大会となりました。

第41回 交通安全子供自転車全国大会

小学校児童に対して、競技を通じ交通安全についての興味と関心を高め、交通知識を身に付けてもらうことを目的とした「第41回交通安全子供自転車全国大会」が8月1日、2日の両日東京都内のグランドアーク半蔵門(1日目)、東京ビッグサイト(2日目)で行われました。同大会で当県チームは28位でした。全国大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 京都府チーム
2位 山形県チーム
3位 大阪府チーム
28位 三重県チーム

第41回 交通安全子供自転車 全国大会開催

